

平成28年度
内灘町地球温暖化対策実行計画
進捗状況報告書
(区域施策編)

令和2年2月

石川県内灘町

目 次

(平成28年度)

1. 温室効果ガスの削減効果	1
2. 温室効果ガス排出実績一覧	1
3. 部門別温室効果ガス排出量	2
4. 部門別温室効果ガス排出量（平成28年度内訳）	3
5. 温室効果ガスの排出量推移グラフ	4
6. まとめ	4

平成 28 年度内灘町温室効果ガス削減効果

1. 温室効果ガス削減効果

内灘町の平成 28 年度（2016 年度）の温室効果ガス排出量は、176,953 t-CO₂/年でした。
目標達成まで 49,686 t-CO₂/年の削減が必要です。

表 1

年度	排出量
目標（平成 2 (1990) 年度相当）	127,267 t-CO ₂ /年
対象年度 平成 28 (2016) 年度	176,953 t-CO ₂ /年
目標までの必要削減量	49,686 t-CO ₂ /年

注 電気の排出係数は実行計画策定時が 0.432、平成 28 (2016) 年度が 0.624 でした。

2. 温室効果ガス排出実績一覧 ※1

表 2

(単位：t-CO₂/年)

	平成 2 年度 (1990)	平成 20 年度 (2008)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	対象年度	
						前年度からの 増減量	前年度比
ガソリン	20,917	30,994	29,765	29,859	30,045	186	0.6%
灯油	11,543	14,160	11,056	11,497	11,652	155	1.4%
軽油	19,417	19,159	16,448	17,134	17,037	-97	-0.6%
重油	22,072	19,081	16,660	15,035	15,815	780	5.2%
ガス	8,353	9,963	10,977	10,470	9,308	-1,162	-11.1%
電気	35,986	56,685	90,298	88,398	86,839	-1,559	-1.8%
メタン※2	7,946	6,292	5,418	5,097	4,989	-107	-2.1%
一酸化二窒素※ 2	158	143	127	120	119	-1	-0.6%
HFC※2	822	1,022	1,134	1,142	1,148	7	0.6%
合計	127,267 (目標値)	157,587	181,882	178,751	176,953	-1,798	-1.0%
目標までの 必要削減量		30,320	54,615	51,484	49,686		

※1 端数処理のため、実際の数値とは若干異なります。

※2 各ガスの排出量に地球温暖化係数を乗じて、二酸化炭素に換算した値。

3. 部門別温室効果ガス排出量

表 3

(単位：t-CO₂/年)

	平成 2 年度 (1990)	平成 20 年度 (2008)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	対象年度		
						前年度比	2008 年度比	基準年度比
産業部門	23,614	17,561	16,431	16,179	18,186	11.0%	3.6%	-23.0%
家庭部門	28,101	43,514	70,352	69,628	63,154	-10.3%	45.1%	124.7%
業務部門	28,452	15,539	15,515	15,881	17,703	10.3%	13.9%	57.1%
医科大		24,960	28,963	26,044	27,001	3.5%	8.2%	
運輸部門	38,174	48,556	43,942	44,660	44,652	0.0%	-8.0%	17.0%
小計	118,341	150,130	175,203	172,393	170,696	-1.0%	13.7%	44.2%
非エネルギー起源 温室効果ガス	8,926	7,457	6,663	6,358	6,257	-1.6%	-16.1%	-29.9%
	127,267 (目標値)	157,587	181,882	178,751	176,953	-1.0%	12.3%	39.0%

《前年度からの変動要因》

産業部門 : A 重油使用量の増加

家庭部門 : LP ガス、電力使用量の減少

非エネルギー起源温室効果ガス排出量 : 家畜の飼養数減少

4. 部門別温室効果ガス排出量（平成28年度内訳）

●エネルギー起源温室効果ガス排出量

表4-1

	燃料				LPG	電力	合計
	ガソリン	灯油	軽油	A重油			
排出係数 (単位)	0.0671 (t-CO ₂ /GJ)	0.0678 (t-CO ₂ /GJ)	0.0686 (t-CO ₂ /GJ)	0.0693 (t-CO ₂ /GJ)	0.0598 (t-CO ₂ /GJ)	0.624 (t-CO ₂ /MWh)	
産業部門	318	997	913	2,791	1,545	11,622	18,186
家庭部門	0	8,525	0	0	5,426	49,203	63,154
業務その他部門	0	2,131	1,262	1,958	2,209	10,143	17,703
金沢医科大学	0	0	0	11,066	64	15,871	27,001
運輸部門	29,727	0	14,861	0	64	0	44,652
合計	30,045	11,652	17,037	15,815	9,308	86,839	170,696

●非エネルギー起源温室効果ガス排出量

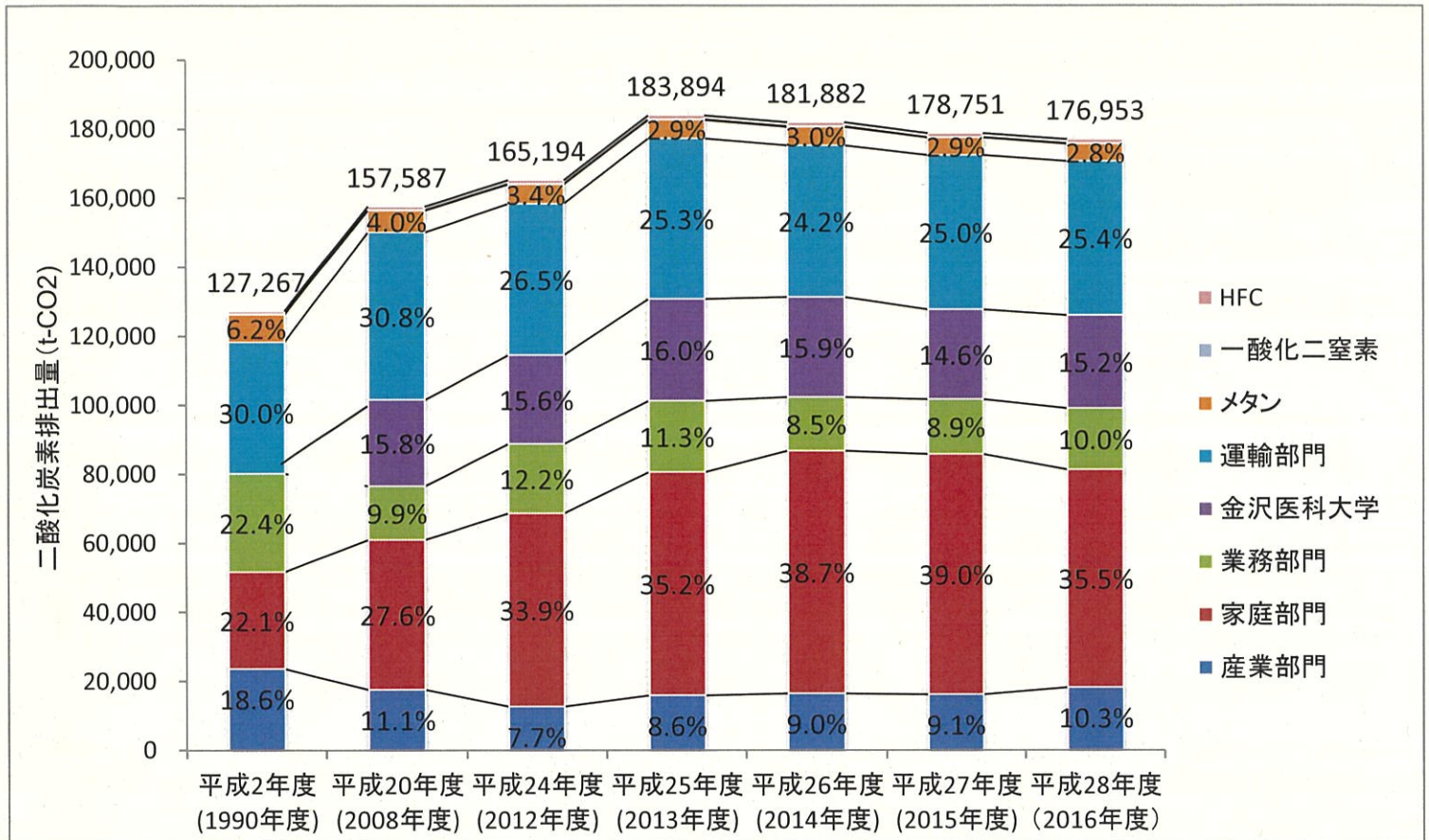
表4-2

平成28年度(2016年度)	温室効果ガス	排出量(t)	CO ₂ 換算
排水処理	メタン	2.28	47.95
排水処理	一酸化二窒素	0.38	119.20
水田	メタン	15.04	315.84
家畜の飼養	メタン	143.53	3,014.11
家畜の排せつ物の管理	メタン	76.73	1,611.39
冷蔵庫使用時の漏洩	HFC	0.0041	15.75
カーエアコン使用時の漏洩	HFC	0.2980	1,132.42
排出量合計			6,256.65

平成28年度温室効果ガス排出量

$$\textcircled{1} 170,696 \text{ t-CO}_2/\text{年} + \textcircled{2} 6,256.65 \text{ t-CO}_2/\text{年} = 176,952.65 \text{ t-CO}_2/\text{年}$$

5. 温室効果ガスの排出量推移グラフ



6. まとめ

内灘町の平成 28 年度 (2016 年度) の温室効果ガス排出量は、176,953 (t-CO₂/年) で、前年比 1.0%の減少となっています。大きな要因として、家庭部門の LP ガス使用量が前年比 20.9%減少、電力使用量が前年比 12.5%減少しています。しかしながら、全体では議定書基準年比で 39.0%増加しています。目標達成まで 49,686 (t-CO₂/年) の削減が必要です。

本町では、家庭部門が全体の約 4 割を占めることから町民へ地球温暖化対策に向けて啓発していくことが重要になります。引き続き、ごみの減量化、リサイクルの推進、再生エネルギーの活用等に向けて町民の理解や協力が得られるように努めていく必要があります。